

## 信用金庫のカードローン等残高

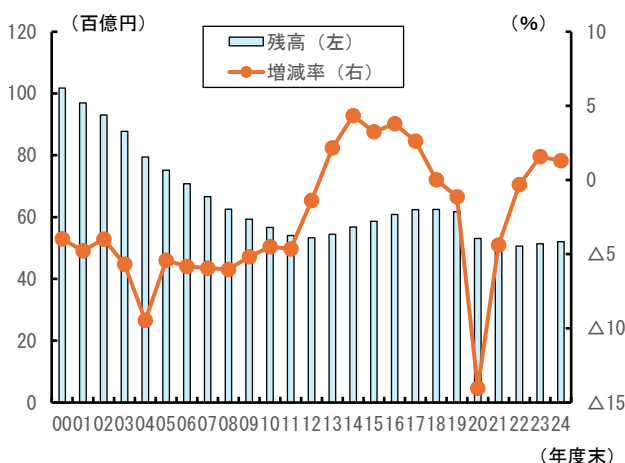
### ポイント

- 2024 年度末の信用金庫のカードローン等残高は、前期比 1.3%、67 億円増加の 5,205 億円となり、2 年連続で前年度末を上回った。
- 1 先あたりのカードローン等残高は増加方向にあり、2000 年度末の 41 万円から 2024 年度末には 76 万円に上昇している。
- 2024 年度末の地区別のカードローン等残高は、東京、近畿などの 7 地区で前期比増加し、北陸、四国などの 4 地区で前年度末を下回った。
- 2024 年度末の信用金庫別の 1 先あたり残高（構成比）は、①60 万円未満（取扱いなしを除く）が 33.2%、②60 万円以上 80 万円未満が 37.5%、③80 万円以上は、29.2%となった。

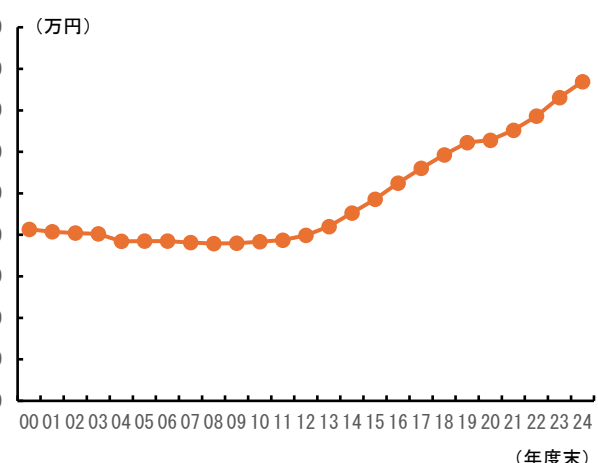
### 1. 全国状況

2024 年度末のカードローン等<sup>1</sup>残高は、前期比 1.3%、67 億円増加の 5,205 億円となり、2 年連続で前年度末を上回った（図表 1）。信用金庫のカードローン等残高はコロナ禍の活動自粛で 2020 年度中に 14.0%減となったものの、経済活動の再開に伴い回復傾向にある。また 1 先あたり残高は、極度額の拡大および効率的な営業活動への転換などから上昇傾向にある（図表 2）。2000 年度末に 41 万円だったが、2010 年台に入ると伸びが目立つようになり、2024 年度末には 76 万円となった。

（図表 1）カードローン等残高の推移



（図表 2）1 先あたり残高の推移



（備考）1. 本稿では他業態との合併等を考慮しない。

2. 図表 1 から 4 まで信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

<sup>1</sup> カードローン、応急ローン、バンクカードによるキャッシングからなる。

2. 地区別の状況

2024 年度末の地区別のカードローン等残高は、東京（7.3%増）、近畿（2.3%増）などの 7 地区で前期比増加し、北陸（4.3%減）、四国（1.3%減）などの 4 地区で前年度末を下回った（図表 3）。2024 年度末の 1 先あたり残高は、東京の 109 万円から四国の 51 万円まで 2 倍近い開きがみられる。なお、2000 年度末との比較では、全 11 地区で減少しており、なかでも東京、四国の減少幅は 6 割台を示した。

（図表 3）地区別のカードローン等残高

(単位：億円、%)

| 地 区  | 00年度末  | 10年度末 | 20年度末 | 23年度末 | 24年度末 | 00年度末比 |        | 00年度末<br>1 先残高 | 24年度末<br>1 先残高 | 24年度末<br>1金庫残高 |
|------|--------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|----------------|----------------|----------------|
|      |        |       |       |       |       | 増減額    | 増減率    |                |                |                |
| 北海道  | 376    | 221   | 175   | 164   | 165   | △ 210  | △ 56.0 | 31             | 52             | 8              |
| 東 北  | 740    | 631   | 605   | 548   | 547   | △ 193  | △ 26.0 | 36             | 73             | 20             |
| 東 京  | 1,114  | 410   | 340   | 324   | 348   | △ 766  | △ 68.7 | 41             | 109            | 15             |
| 関 東  | 1,885  | 932   | 952   | 937   | 949   | △ 936  | △ 49.6 | 45             | 80             | 19             |
| 北 陸  | 342    | 237   | 172   | 144   | 137   | △ 204  | △ 59.7 | 40             | 68             | 9              |
| 東 海  | 1,353  | 824   | 817   | 765   | 772   | △ 580  | △ 42.9 | 38             | 76             | 22             |
| 近 畿  | 2,133  | 1,101 | 938   | 998   | 1,021 | △1,111 | △ 52.1 | 46             | 85             | 35             |
| 中 国  | 780    | 454   | 395   | 367   | 365   | △ 414  | △ 53.1 | 44             | 66             | 18             |
| 四 国  | 652    | 353   | 243   | 217   | 214   | △ 437  | △ 67.0 | 46             | 51             | 21             |
| 九州北部 | 283    | 156   | 169   | 165   | 167   | △ 116  | △ 40.8 | 30             | 64             | 12             |
| 南九州  | 502    | 318   | 333   | 321   | 322   | △ 179  | △ 35.7 | 37             | 61             | 24             |
| 全 国  | 10,177 | 5,664 | 5,307 | 5,138 | 5,205 | △4,971 | △ 48.8 | 41             | 76             | 20             |

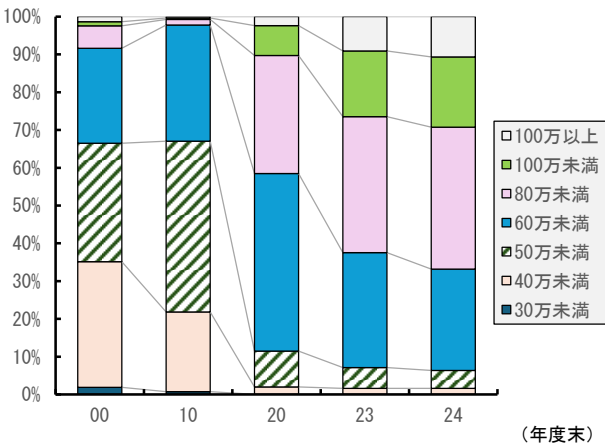
（備考）沖縄県は全国に含む。

3. 信用金庫別の状況

2024 年度末の信用金庫別の 1 先あたり残高（構成比）は、①60 万円未満（取扱いなしを除く）が 33.2%（84 金庫）、②60 万円以上 80 万円未満が 37.5%（95 金庫）、③80 万円以上は 29.2%（74 金庫）となった（図表 4）。2024 年度末の平均は 76 万円だったが、中央値でみると 67 万円となる。ちなみに 1 先残高が 200 万円を超える信用金庫が 4 金庫あり、法人向けカードローンや大型商品を提供しているとみられる。

2000 年度末と 2024 年度末の構成比を比べると、50 万未満が 66.4%（246 金庫）から 6.3%（16 金庫）に低下する一方で、100 万円以上は 1.3%（5 金庫）から 10.6%（27 金庫）に上昇している。

（図表 4）信用金庫別の 1 先あたり残高（構成比）



本レポートは発表時点における情報提供を目的としており、文章中の意見に関する部分は執筆者個人の見解となります。したがって、投資・施策実施等についてはご自身の判断をお願いします。また、レポート掲載資料は信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、当研究所が正確性および完全性を保証するものではありません。なお、記述されている予測または執筆者の見解は予告なしに変更することがありますのでご注意ください。